

平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 興研株式会社

コード番号 7963 URL <http://www.koken-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 酒井 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長

(氏名) 長坂 利明

TEL 03-5276-1911

四半期報告書提出予定日 平成25年8月2日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	3,468	△19.1	173	△65.9	146	△66.9	63	△77.4
24年12月期第2四半期	4,285	5.0	508	4.9	443	△2.2	279	22.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	12.48	12.35
24年12月期第2四半期	55.31	55.07

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
25年12月期第2四半期	15,501	15,966	8,471	8,647	54.5	1,682.52	1,703.16	
24年12月期	15,966	15,966	8,647	8,647	54.1	1,703.16	1,703.16	

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 8,453百万円 24年12月期 8,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年12月期	—	0.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,400	0.8	650	△12.8	580	△12.4	350	△9.1	69.04

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 当第1四半期会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区分することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】2ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	5,104,003 株	24年12月期	5,104,003 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	79,659 株	24年12月期	34,656 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	5,060,904 株	24年12月期2Q	5,058,416 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、本四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する定性的情報	1
(2) 財政状態に関する定性的情報	1
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) セグメント情報等	7
5. 補足情報	8
(1) 品目別売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期(平成25年1月～6月)におけるわが国経済は、新政権の経済政策や日銀の金融緩和に対する期待感から、円安・株高傾向が進み、中国・欧州の景気減速懸念等の不安材料は存在しているものの、輸出企業を中心に企業収益環境は徐々に改善し、国内景気も全体的には持ち直しの兆しが出てきました。

このような状況の中にあつて、当社は国内製造業の就業者数減にともなう産業用マスクの需要減を補うため、医療及びクリーン分野に重点を置いた取り組みを続けております。

当第2四半期は、産業用マスク需要の回復遅れとオープンクリーンシステム「KOACH」の受注計画未達に加え、前年対比震災特需の減少等により、売上高は34億68百万円(前年同期比19.1%減)となりました。

利益につきましては、震災特需の反動減を予想し、全社的経費の圧縮に努めましたが、原材料価格の高騰や新製品開発費用の増加等にともなう売上原価率の上昇で、営業利益は1億73百万円(同65.9%減)に、経常利益は1億46百万円(同66.9%減)と、計画を若干下回る結果となりました。四半期純利益につきましては、繰延税金資産の取崩による法人税等調整額の増加の影響で、63百万円(同77.4%減)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りであります。

(マスク関連事業)

医療機関へのマスク販売では、使い捨て式防じんマスク「ハイラック」シリーズの高フィット性能が評価され、全国の保健所や感染症指定医療機関での採用が着実に進み、シェア拡大が続いております。その一方で、製造業の国内での設備投資意欲は依然として低調で、産業用マスクの需要については回復の遅れが見えます。そうしたことからマスク関連事業の売上高は、31億54百万円(同16.9%減)となりました。

なお、本年5月に市場参入を表明した家庭用マスクについては、その参入に当たり、当社が独自に取った子供の顔や呼吸等のサンプリングデータを基にしたマスク開発、マスクについてわかりやすく解説した「マスク読本」の企画・製作・配布、海外生産子会社稼働に向けた各種準備の展開、そして各メディアから寄せられたマスクに関する取材への協力など、新市場でのシェア獲得の準備を着実に進めております。そして家庭用マスクの先陣を切る子供用マスクは量産準備も順調に進み、当初の予定通り10月に販売を開始いたします。今回投入する高機能、高フィットを実現した新製品を子供用マスクのスタンダード品に育成して参る所存であります。

(その他事業/環境関連事業等を含む)

オープンクリーンシステム「KOACH」については、展示会等により獲得した引き合い物件からの受注活動に努めました。しかし、引き合いから受注までの期間が想定よりかなり掛かる物件が多く、売上予想を下回りました。その分、継続検討物件数は積み上がって250件までになり、事業としての展望は期待通りとなっております。

全自動内視鏡洗浄装置「鏡内侍」については、採用ユーザー様にご登場して頂く消化管の医療専門誌の広告展開を行い、着実な実績を上げております。その一方で官公庁向けの浄化装置の受注は減少しました。

これらの結果、その他事業の売上高は、3億13百万円(同35.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産合計は155億1百万円(前事業年度末159億66百万円)となり4億65百万円減少いたしました。その主な要因は、流動資産が売掛金等の減少により4億70百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は70億29百万円(前事業年度末73億18百万円)となり2億89百万円減少いたしました。その主な要因は、流動負債が賞与引当金等の減少により2億60百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は84億71百万円(前事業年度末86億47百万円)となり1億76百万円減少し、自己資本比率は54.5%(前事業年度末54.1%)となりました。その主な要因は、自己株式の取得等により株主資本が1億81百万円減少したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、23億73百万円となり、前事業年度末と比較して52百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次の通りです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は6億38百万円（前年同四半期は8億52百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益が1億45百万円となったことと、売上債権の減少額5億94百万円及びたな卸資産の増加額2億59百万円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億6百万円（前年同四半期は4億36百万円の支出）となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出1億24百万円及び有形固定資産の取得による支出1億92百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億79百万円（前年同四半期は1億85百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額1億26百万円及び自己株式取得による支出1億37百万円等を行ったことによるものです。

（3）業績予想に関する定性的情報

平成25年2月12日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積もりの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,320,852	2,373,464
受取手形及び売掛金	3,262,641	2,667,993
商品及び製品	455,841	498,472
仕掛品	267,235	491,941
原材料及び貯蔵品	437,388	430,007
繰延税金資産	238,219	177,089
その他	202,334	74,320
貸倒引当金	△4,000	△3,000
流動資産合計	7,180,514	6,710,289
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,441,094	1,396,349
機械及び装置(純額)	830,612	799,704
土地	4,740,386	4,740,386
その他(純額)	455,233	387,925
有形固定資産合計	7,467,326	7,324,367
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	60,616	70,947
繰延税金資産	193,770	185,353
役員に対する保険積立金	838,921	840,579
関係会社株式	100,875	225,375
その他	87,444	98,172
貸倒引当金	△4,000	△4,000
投資その他の資産合計	1,277,627	1,416,428
固定資産合計	8,785,639	8,790,787
資産合計	15,966,154	15,501,076

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,551	176,194
短期借入金	2,300,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	1,235,400	1,156,600
未払金	167,542	143,252
未払法人税等	—	19,528
賞与引当金	245,000	92,000
役員賞与引当金	34,600	8,000
その他	336,677	340,507
流動負債合計	4,496,771	4,236,082
固定負債		
長期借入金	2,212,700	2,199,300
役員退職慰労引当金	444,800	458,700
その他	164,403	135,517
固定負債合計	2,821,903	2,793,517
負債合計	7,318,674	7,029,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	674,265	674,265
資本剰余金	528,178	527,936
利益剰余金	7,462,956	7,391,352
自己株式	△31,340	△140,824
株主資本合計	8,634,060	8,452,730
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△161	6,488
繰延ヘッジ損益	—	△5,669
評価・換算差額等	△161	818
新株予約権	13,580	17,928
純資産合計	8,647,479	8,471,477
負債純資産合計	15,966,154	15,501,076

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,285,653	3,468,698
売上原価	2,255,280	1,905,074
売上総利益	2,030,373	1,563,624
販売費及び一般管理費	1,521,964	1,390,189
営業利益	508,408	173,434
営業外収益		
受取利息	62	86
受取配当金	1,540	1,621
受取手数料	5,689	4,657
還付加算金	—	4,241
雑収入	4,736	5,197
営業外収益合計	12,028	15,804
営業外費用		
支払利息	31,724	32,440
支払手数料	35,000	—
雑損失	10,085	10,107
営業外費用合計	76,810	42,548
経常利益	443,627	146,691
特別利益		
新株予約権戻入益	38,533	—
特別利益合計	38,533	—
特別損失		
固定資産除売却損	1,307	1,208
特別損失合計	1,307	1,208
税引前四半期純利益	480,852	145,482
法人税、住民税及び事業税	64,000	13,000
法人税等調整額	137,092	69,341
法人税等合計	201,092	82,341
四半期純利益	279,760	63,141

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	480,852	145,482
減価償却費	275,184	274,626
新株予約権戻入益	△38,533	—
有形固定資産除却損	1,307	1,208
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13,900	13,900
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△151,000	△153,000
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△28,800	△26,600
受取利息	△62	△86
受取配当金	△1,540	△1,621
支払利息	31,724	32,440
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	△1,000
売上債権の増減額 (△は増加)	913,342	594,647
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△20,720	△259,955
仕入債務の増減額 (△は減少)	5,041	△1,356
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18,165	△12,894
その他	△104,931	△102,030
小計	1,357,600	503,760
利息及び配当金の受取額	1,851	1,708
利息の支払額	△31,509	△33,281
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△475,005	166,662
営業活動によるキャッシュ・フロー	852,937	638,849
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△492,753	△192,194
有形固定資産の売却による収入	62,516	125,184
無形固定資産の取得による支出	△1,965	△2,122
長期前払費用の取得による支出	△4,374	△11,939
貸付けによる支出	△1,000	—
貸付金の回収による収入	848	886
関係会社株式の取得による支出	—	△124,500
その他	△61	△1,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	△436,789	△206,399
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,000,000	2,000,000
短期借入金の返済による支出	△2,100,000	△2,000,000
長期借入れによる収入	800,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△684,000	△692,200
自己株式の取得による支出	—	△137,149
配当金の支払額	△176,064	△126,272
その他	△25,235	△24,216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△185,300	△379,838
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	230,846	52,611
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,048,000	2,320,852
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,278,847	2,373,464

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	マスク 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,796,831	488,822	4,285,653	—	4,285,653
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,796,831	488,822	4,285,653	—	4,285,653
セグメント利益又は損失 (△)	1,778,517	251,855	2,030,373	△1,521,964	508,408

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,521,964千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期損益 計算書計上額 (注) 3
	マスク 関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,154,858	313,840	3,468,698	—	3,468,698
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,154,858	313,840	3,468,698	—	3,468,698
セグメント利益又は損失 (△)	1,438,439	125,184	1,563,624	△1,390,189	173,434

(注) 1. 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,390,189千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 品目別売上高

区分	前第2四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)		当第2四半期累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)		比較増減 (△は減) 金額(千円)
	金額(千円)	比率(%)	金額(千円)	比率(%)	
防じんマスク	2,102,859	49.1	1,788,084	51.6	△314,775
防毒マスク	1,195,628	27.9	888,393	25.6	△307,235
防じん・防毒マスク 関連その他製品	498,343	11.6	478,380	13.8	△19,962
小計	3,796,831	88.6	3,154,858	91.0	△641,972
その他	488,822	11.4	313,840	9.0	△174,982
合計	4,285,653	100.0	3,468,698	100.0	△816,954
(上記のうち輸出分)	(124,330)	(2.9)	(99,302)	(2.9)	(△25,028)